

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2014年1月1日 ～ 2023年6月30日の間に、虎の門病院内分泌代謝科・内分泌内科でGHRP-2負荷試験とCRH負荷試験を受けた成人の方

【研究課題名】

中枢性副腎皮質機能低下症の診断における GHRP-2 負荷試験の有用性の検討

【研究の目的・背景】

中枢性副腎皮質機能低下症は下垂体から本来分泌されている副腎皮質刺激ホルモンの分泌が低下し、体内での副腎皮質ホルモンが不足することで欠落症状を生じる疾患です。中枢性副腎皮質機能低下症は、下垂体負荷試験で得られた血液中のホルモンの濃度を参考に診断されます。この下垂体負荷試験は CRH 負荷試験とインスリン負荷試験の2種類が使用されていますが、副作用や合併症等により実施困難な場合があります。本研究は当院内分泌代謝科・内分泌内科で下垂体負荷試験を受けた患者さんを対象に、下垂体機能検査を解析して、CRH 負荷試験とインスリン負荷試験とは異なる GHRP-2 負荷試験による中枢性副腎皮質機能低下症の診断基準を検討することを目的としています。

【研究期間】

2024年4月22日 ～ 2025年3月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院内分泌代謝科竹下章のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：下垂体負荷試験を含む検査データ、診療記録、薬歴

【研究代表者】

該当なし

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：内分泌代謝科・竹下章

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2024年9月30日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科・竹下章

電話 03-3588-1111(代表)